

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373600283
事業所名	グループホーム ジョイフル布袋

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい(外部評価項目：2)	評価
	町内会に加入し、地域の祭り、町内清掃に参加している。周りは畑が広がり、散歩時には作業中の近所の方から大根などを頂くことも多い。ホームの夏祭り、忘年会には運営推進会議を通じて町内に参加を呼びかけている。時々、近所の子供も遊びに来て入居者と話したり、入居者の似顔絵を描いたりしている。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み(外部評価項目：3)	評価
	地域の区長、民生委員、地域包括支援センター職員、所長をメンバーとし、隔月で今年も既に6回の開催が確認された。地域包括支援センター職員は必ず参加している。会議では入居者の状況、活動、外部評価などについて継続的に報告されている。同会議の提案で冬は外観が殺風景に見えるという意見から、花を増やす努力をしている。	
重点項目	市町村との連携(外部評価項目：4)	評価
	行政との連絡は施設長が窓口となっている。事故の報告や入居者に関する相談などを行っている。市の担当者が運営推進会議に出席することもあり、顔馴染みとなり気軽に話ができる関係である。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映(外部評価項目：6)	評価
	家族会はないが夏祭り、忘年会には家族も参加している。ホーム便りは毎月発行し家族に届けられている。月1回「寄り合い」という会合で入居者と話し合い、入居者の要望を聴き相談に対応している。家族は面会時に要望等を伝えてくれる。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	
総合評価		

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価						

1.外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2.外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認(記録、写真等)できること。

外部評価項目	確認事項
2.事業所と地域とのつきあい	(例示) 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3.運営推進会議を活かした取組み	(例示) 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4.市町村との連携	(例示) 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6.運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

(注)要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。